

2017

ぶうげん
びりあ10
月号

No.291

ホームページ <http://www.hahashouchu.ogasawara.ed.jp/>

学び育つ充実した秋に

校長 横山 優美

残暑厳しい9月も終わり、吹く風に、空高い雲に、秋を感じるようになりました。2学期が始まり、1か月が過ぎました。子供たちは、落ち着いた学校生活を送っています。1学期が「土台づくり」であれば、2学期は「成長と飛躍」の学期です。1学期に培った力と夏休みの経験をもとに、一人一人が更なる目標をもって実り多き2学期を過ごすことができるよう期待しています。

○小学校 プール納めで見せたパワー

6月から始まった水泳指導が9月19日で終了しました。プール納めの「発表会」「母島オリンピック」での力強い泳ぎ、大きな声で友達を応援する態度から、子供たちの大きなエネルギーを感じました。「全力」を出し、「真剣」に競い合い、自分の目標に向かって「挑戦」した子供たちによく頑張りましたと拍手を送りたいと思います。応援に来てくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

○よりよく学び育つ土台は「自己肯定感」から

水泳の学習もそうですが、日々の子供たちの様子を見てみると、子供たち自身が自分の力で学んでいこう、もっとうまくなりたいとがんばる姿があります。多少の困難にもくじけずに向かっていく子、失敗しても「もう一度」と挑戦していく子、とてもいいなあと思って見ています。積極的に何事にも挑戦していこうとする子供は自己肯定感が高い子ともいえます。一方で、大人は子供が失敗しないように先回りして支援してしまったり、失敗や無駄なところをなくし、よりよくしようと叱ってしまったりすることが多い傾向があります。大人たちが、子供から「失敗する経験」や「くじけずに挑戦しようとする意欲」を奪っているのかもしれない。

自己肯定感とは、「自分は大切な存在だ」「自分は誰かに必要とされている」と自らの価値や存在意識を肯定できる感情のことをいいます。自分の良いところも悪いところも含めて肯定できる感情です。自己肯定感の高い子供は、自分に自信があり、何事にも挑戦していく強い心をもっています。また、自己肯定感があると心に余裕があり、人に優しく親切に接することができるので多くの友達が集まる傾向が見られます。反対に、自己肯定感が低いと自分に自信がもてず、失敗を恐れてチャレンジしようとしないう「どうせ自分なんか・・・」とマイナス思考に陥ってしまいがちです。常に劣等感を抱き、他者を尊重することも難しく、心が病んでしまうこともあります。

学校では、授業で学力を高めるとともに、道徳の時間等を中心に規範意識を育て、児童生徒の自己肯定感を高めていく使命があります。長所だけでなく、短所も合わせて自分を好きになることが自己肯定感を高めることにつながります。自己肯定感を高めることで学びの土台をつくるのです。

○「特別の教科 道徳」

小学校では平成30年度から、中学校では31年度から「特別の教科 道徳」が実施されます。これまでの道徳授業は実効性や実践力が乏しい点を指摘されてきました。「特別の教科 道徳」ではよりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とし、「考え、議論する道徳」を目指しています。授業では、児童生徒が問題意識をもち、友達や教師との対話を通して互いの良い点を認め合い、意見を尊重し合い、自己の生き方について考えを深めていきます。このような学習が自己肯定感を高めることにつながっていきます。

10月14日(土)は道徳授業地区公開講座です。ぜひご来校いただき、道徳授業のご参観、懇談会へのご参加をお願いいたします。学校と家庭と地域が一体となり、自己肯定感が高く、自分で考え、判断できる子供たちを育てていきたいと考えています。

自己肯定感を高めるためには・・・

1. 話を真剣に聞く
2. 叱るときは「行動」を叱る
3. 小さな成功体験を積みせ、ほめてあげる
4. がんばりを認めてあげる
5. 感謝の言葉を伝える「ありがとう」

9月8日（金）～9月11日（月）で硫黄島訪島事業に行っていました。当初予定されていた6月の硫黄島訪島事業が中止となり、硫黄島への上陸は叶いませんでしたが、多くのことを学ぶことができました。また、南硫黄島や北硫黄島など普段では見られない島を間近で見ることができました。

私たちの学年では、年度当初から硫黄島で起きたことを「他人事ではなく、自分のものとして捉えてほしい」という思いで学習を進めてきました。そのためには、まず自分が住む母島で、戦時中にどんなことが起きたのか、そこから知る必要があると思い、〇〇さんに義勇隊として軍に従事していた時のお話を伺ったり、〇〇さんに沖村墓地や静沢の戦跡を案内していただいたりしました。また、生徒たちは、数十年前にPTAの方々が尽力し、作って下さった戦争体験記を読むことで、戦時中の島民たちへ思いをめぐらすことができました。

硫黄島訪島事業当日。それぞれのテーマと目標を胸に、母島を出発しました。2日目には、父島の戦跡を長年整備し、守られてきた〇〇さんに戦跡を案内していただきました。木にZと彫られていた理由。格納庫に石灰が多く混ぜられている理由。実際に、目で見て触らなければわからないことをたくさん教えていただきました（その理由は、10月中旬の総合発表会でお伝えできればと思いますので、ぜひお越しください！）。午後には、小笠原高校で、体験授業と高校下の油庫を見せていただき、また、船内では、硫黄島協会の〇〇さんから遺骨収集についてお話を聞かせていただきました。

3日目は、朝起きてすぐ南硫黄島を間近で見ることができました。都レンジャーの〇〇さんに教えていただいた手つかずの自然。それをじっくり観察しました。そして、慰霊祭。硫黄島を目の前にして、それぞれが誓いの言葉を読み上げました。（誓いの言葉より一部抜粋）



世界は広くていろいろな人がいます。そのために考え方や解釈が違ってしまふのは当たり前のことです。しかしそのようなときは、戦争をするのではなく、自分の意見を持ちながら相手の意見も尊重し、世界のみんなで話し合っていくべきだと思います。そして、武力を持ち出すのではなく話し合うことによって、平和な世界を創っていくことを誓います。（〇〇）

毎日が楽しく、平和に過ごすことができ、ごはんも水もたくさんある中で生活できることは当たり前だと思っていました。しかし、戦争について調べていく中で今の生活が当たり前ではないということを実感しました。戦争はたくさん人の命も心も奪う恐ろしいものです。私は命以上に大切なものはないと思います。そのため、これからも「戦争のない世界」を強く願っています。（〇〇）



2人の誓いの言葉を聞き、故郷を、そして家族を思いながら戦っていた兵士たちを思うと、こみ上げるものがありました。その夜の振り返りの中で、生徒たちから「甲板にあがると硫黄のにおいがしたり、すごく暑かったりして、壕にいた兵士たちがどれほど大変だったか…」という言葉がありました。この感覚は、実際に行かないと分かりません。それを、しっかりと感じられた行事になったのではないかと思います。例年のない長い事前学習の中で、たくさんの方々にお世話になりました。本当にありがとうございました。

中学3年生の理科の授業では、「自然環境の調査と保全」という単元があり、現在の教科書には小笠原諸島のグリーンアノールとオガサワラシジミ、オガサワラゼミ、オガサワラトカゲの関連性が例として紹介されています。そのため、自然環境を守るためにどのような取り組みがなされているのか、この母島で固有種となっている生物にはどのような特徴があるのかを本物に触れながら学ぶことができました。

世界遺産になっている母島、そのコアゾーンである石門。島っ子の4人に行ったことがあるか聞くと「行ったことがない」、「はじめて」という声が多く、今年も4人全員が初めての石門となりました。当日は、朝から晴天が広がり、気温が高いことから脱水症状にならないか、全員女子ということでの体力面の心配などをしていましたが、行程は順調で予定より早い時間での下山となりました。

道中では、ガイドの説明を聞きながら、小学校での校外学習で学んだ事を思い出し、「この植物、乳房山にもあった!」、「そういえば、こんな特徴があったよね。」などお互いに固有種の名前、特徴などを確認し合うなど、この母島小中学校9年間で学んできた知識がしっかりとつながっているなど感じる場面を多くみることができました。

母島の自然の素晴らしさをしっかりと心に留めて、これから出会う多くの人に伝えていってもらいたいと感じる校外学習でした。



小学校プール納め

3年担任 増村 政亮

今年のプール納めは、まず、今年できるようになった泳ぎを一人一人が発表しました。泳ぐ前に元気よく今年度のプールの振り返りを発表してから泳ぎました。泳ぐ前は皆緊張の面持ちでしたが、友達や家族からの声援などを受け、泳ぎ切ると達成感に満ち溢れた表情を見せてくれました。

次に行われたのは、紅白に分かれての母島オリンピック。下学年は水中宝探し、上学年は自由型リレーを行いました。上学年のリレーでは白熱した戦いとなり、タイムも一秒差もない接戦でした。最後は書目別記録上位者による25m自由形と平泳ぎを行いました。伸びがありながらも力強い泳ぎでとてもよいレースとなりました。

今年度、大きな事故なくプールの学習が行えたのも、日頃からのご家庭での健康管理があつてのことです。ご協力ありがとうございました。来年度も児童一人一人更なる成長が見られるのが楽しみです。



10月の生活指導

生活目標

「自分から進んで働こう」

- ・周りの人に感謝しよう。
- ・力を合わせて仕事をしよう。
- ・社会に役立つ大切さを理解しよう。

安全指導 17日(火)

「刃物の扱いと道具の借用・返却について」が、重点指導目標です。

今月は、学芸会に向けて道具を作るなど、刃物を使用する機会が増えます。先生に無断で使用するのではないよう、ルールを守り安全に気を付けて使い、きちんと返却するよう指導を徹底します。

避難訓練 19日(木)

校内での火災発生を想定した避難訓練を行います。今回は、児童生徒への避難訓練開始時刻の予告はしません。

緊急時に落ち着いて、素早く身を守るための行動をとれること等、普段の訓練の成果を確認する機会とします。

平成29年度 学芸会

11月3日(金 文化の日) 開演8時45分

詳細につきましては、後日改めてお知らせさせていただきます。

土曜学校公開 道徳授業地区公開講座

学校の道徳授業を公開し、保護者や地域の皆様とともにこれからの道徳教育を考えることを目的としています。

◆日時

10月14日(土)

〔土曜学校公開〕1校時～6校時
(8時20分から15時10分まで)

〔道徳授業地区公開講座〕

- ①道徳授業公開 2校時から4校時まで
- ②懇談会 15時20分から16時10分まで

東京ベーシックドリルの活用について

東京都教育委員会では、児童・生徒の基礎的・基本的な学習内容の定着を図るため、東京ベーシックドリルの問題をパソコンやタブレット端末等に表示し、解答、採点することができる東京ベーシックドリルソフト(インターネット版)を東京都教育委員会のホームページ上で公開しています。

ご家庭にインターネット接続できる環境があれば、ご家庭等でも学習に取り組むことができます。ご活用ください。

〔東京都教育委員会のホームページ〕

http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/buka/shidou/manabiouen/basic_drill.html

トップページ → 学び応援ページ → 確かな学力
→ 東京ベーシック・ドリル

10月の主な行事予定

10月の主な行事予定			16 月	振替休業日
1	日	都民の日	17 火	朝礼(保健指導) 星空観察会(小) 学校運営連絡協議会
2	月	中間考査1(中) 後期委員会発足(小)	18 水	体育館利用停止
3	火	中間考査2(中)	19 木	避難訓練 歯科検診(全) 星空観察会予備日 サッカークリニック
4	水	生徒総会(中) 西浦校外学習予備日	20 金	手づくりお弁当の日(全)
5	木	児童集会(小2)	21 土	
6	金	北村校外学習(小4)	22 日	
7	土	英検	23 月	朝礼
8	日		24 火	
9	月	体育の日	25 水	
10	火	朝礼(安全指導) PTA陶芸教室(成型)	26 木	SC在島
11	水	PTA陶芸教室(成型)	27 金	
12	木		28 土	
13	金	北村校外学習予備日(小4)	29 日	
14	土	土曜学校公開・道徳授業地区公開講座	30 月	朝礼
15	日		31 火	ウコッケイ教室(小1・2)